

高等学校 教科・科目

家庭科・ファッション造形基礎

教科： 家庭 科目： ファッション造形基礎

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組～ E 組

使用教科書： (ファッション造形基礎 (実教出版))

科目 ファッション造形基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。	被服製作やデザインに関する課題を発見し、ファッションの造形を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	衣生活の充実を目指して、自ら学び、ファッションの造形に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 衣服の構成 【知識及び技能】 人体計測だけでなく、動作や着脱に影響される寸法や携帯、年齢による体型変化などに配慮することを理解する。 平面構成と立体構成があることを理解し、既製衣料のサイズ表示も理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 体型の特徴や動作によって適切な衣服を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 年齢や体型、様々なケースに適合する衣服に対して関心を持つ。	1 衣服の構成 ①人体と衣服 ②立体構成と平面構	1 衣服の構成 【知識及び技能】 人体計測だけでなく、動作や着脱に影響される寸法や携帯、年齢による体型変化などに配慮することを理解することができる。 平面構成と立体構成があることを理解し、既製衣料のサイズ表示も理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 体型の特徴や動作によって適切な衣服を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 年齢や体型、様々なケースに適合する衣服に対して関心を持っている。	○	○	○	6
2 衣服の素材 【知識及び技能】 繊維・糸・布と、素材の違いによるそれぞれの特徴、それらの加工を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作成したい衣服に合わせた素材選びを行う。 【学びに向かう力、人間性等】 衣服材料の特性を理解し、用途や好みを確認しながら適切なものを選択する。	2 衣服の素材 ①衣服素材の種 ②衣服素材の性能と選択	2 衣服の素材 【知識及び技能】 繊維・糸・布と、素材の違いによるそれぞれの特徴、それらの加工を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 作成したい衣服に合わせた素材選びを行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 衣服材料の特性を理解し、用途や好みを確認しながら適切なものを選択することができる。	○	○	○	9
3 洋服の製作 【知識及び技能】 パターンの展開や原型の特徴など、洋服の種類に応じて必要な手順と技を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 製作に必要な技術を習得し、それを自分の表現にする。目的に応じたデザインの決定を行い、課題の実現に向けて、計画的に実習する。 【学びに向かう力、人間性等】 技法の学びや実践を通して、作品製作に積極的に取り組む。着心地への工夫など、自分から課題を見つけ、課題解決に向けた工夫を実践しながら実習に取り組む。	3 洋服の製作 ①製作の基礎 ②パンツの製作 ③着装	3 洋服の製作 【知識及び技能】 パターンの展開や原型の特徴など、洋服の種類に応じて必要な手順と技を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 製作に必要な技術を習得し、それを自分の表現にすることができる。目的に応じたデザインの決定を行い、課題の実現に向けて、計画的に実習できる。 【学びに向かう力、人間性等】 技法の学びや実践を通して、作品製作に積極的に取り組んでいる。着心地への工夫など、自分から課題を見つけ、課題解決に向けた工夫を実践しながら実習に取り組んでいる。	○	○	○	30

